

(別紙)

構成要件目録 1

- A 筒本体と,
- B この筒本体の一端部に設ける貫通孔を有する入口側接続部材と,
- C 筒本体の他端部に設ける貫通孔を有する吐出側接続部材と,
- D 外周に螺旋羽根を有して上記筒本体の入口側接続部材寄りに内蔵する螺旋羽根本体と,
- E 上記筒本体の吐出側接続部材寄りに内蔵するフリップフロップ現象発生用軸体とからなり, かつ,
- F 上記フリップフロップ現象発生用軸体は, 一端部を截頭円錐形に形成するとともに他端部を円錐形に形成し,
- G この両端部の間である軸部の外周面に多数のひし形凸部を所定の規則性を以って形成したものである
- H ことを特徴とする流体吐出管構造体。

以 上

(別紙)

構成要件目録 3

L 貫通孔を有する入口側接続部材は，筒本体の一端部に設けたときに，筒本体に内蔵した螺旋羽根本体の入口側接続部材寄りの位置に流体の流れを整える整流空間部を有している

M ことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の流体吐出管構造体。

以 上

(別紙)

被告各製品構成目録（原告主張）

- 1 本件発明 1 の構成要件に準じた構成
 - a 筒本体 2 と,
 - b この筒本体 2 の一端部に設ける貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 と,
 - c 筒本体 2 の他端部に一体に設ける貫通孔 5 を有する吐出側接続部材 6 と,
 - d 外周に螺旋羽根 2 4 を有して上記筒本体 2 の入口側接続部材 4 寄りに内蔵する螺旋羽根本体 7 と,
 - e 上記筒本体 2 の吐出側接続部材 6 寄りに内蔵するフリップフロップ現象発生用軸体 8 とからなり, かつ,
 - f 上記フリップフロップ現象発生用軸体 8 は, 一端部を截頭円錐形 3 4 a に形成するとともに他端部を円錐形 3 4 b に形成し,
 - g この両端部の間である軸部の外周面に多数のひし形凸部 3 2 を所定の規則性を以って形成したものである
 - h ことを特徴とする流体吐出管構造体。
- 2 本件発明 3 の構成要件に準じた構成
 - 1 貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 は, 筒本体 2 の一端部に設けたときに, 筒本体 2 に内蔵した螺旋羽根本体 2 4 の入口側接続部材 4 寄りの位置に流体の流れを整える整流空間部 2 9 を有している
 - m ことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の流体吐出管構造体。

以 上

(別紙)

被告製品 (3/8inch) 写真目録 (原告主張)

1



2



3



4

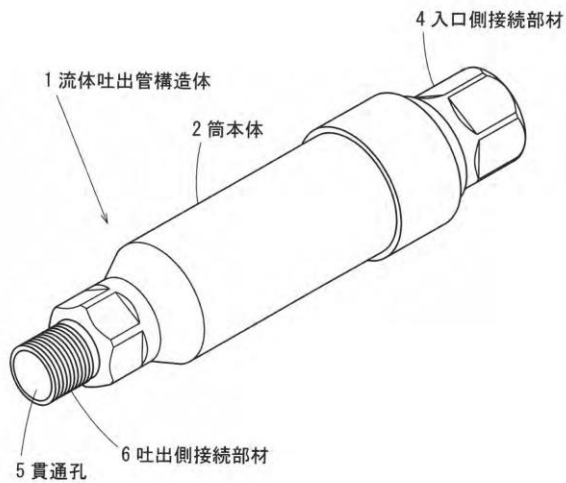


以 上

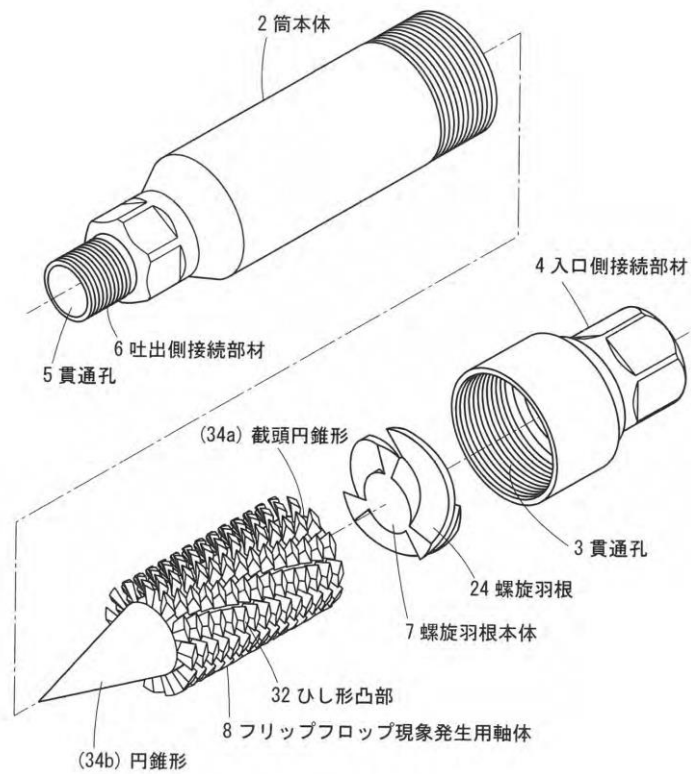
(別紙)

被告製品 (3/8inch) 図面目録 (原告主張)

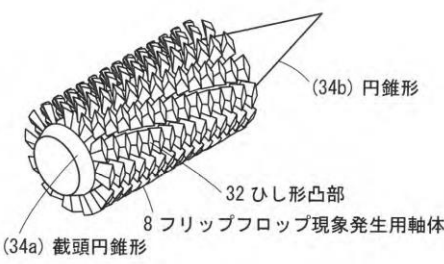
1



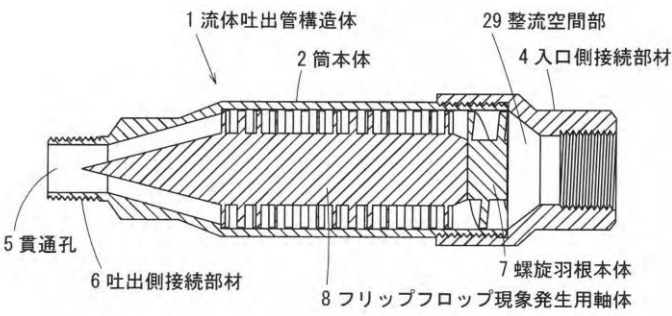
2



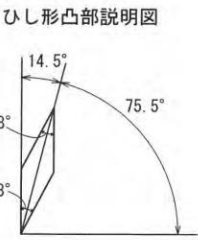
3



4



5



以 上

(別紙)

被告各製品構成目録（被告主張）

1 被告製品（1/4inch）

(1) 本件発明 1 の構成要件に準じた構成

a 1 両端のうち吐出側の一端部に貫通孔 5 を有する接続機構 6' が一体に設けられた筒本体 2 と、

b 1 この筒本体 2 の他端部に設ける貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 と、

c 1 （該当なし）

d 1 外周に螺旋突起 2 4 を有して上記筒本体 2 の入口側接続部材 4 寄りに内蔵する第 1 の軸体 7 と、

e 1 上記筒本体 2 の接続機構 6' 寄りに内蔵する第 2 の軸体 8 とからなり、かつ、

f 1 上記第 2 の軸体 8 は、一端部を略円柱形 3 4 a' に形成するとともに他端部を円錐形 3 4 b に形成し、

g 1-1 この両端部の間である軸部の外周面に多数の凸部 3 2 が、不規則な位置関係で個体差を以って形成されたものであり、

g 1-2 各凸部 3 2 における、底平面（凸部 3 2 の底面を真下から垂直に見た形）、天井平面（凸部 3 2 の天井面を真上から垂直に見た形）、及び底面から天井面までの、底面から天井面に向かう方向に対して垂直方向の各断面（以下、「凸部各断面」という。）は、いずれも形状が異なっており、かつ、それぞれの四辺の長さ及び四つの内角の角度が不均一な略四角形であり、

g 1-3 各凸部 3 2 の正面は、軸部の底面から天井面にかけて末広がりになっている略扇形状であって、歪みをもって形成されている

h 1 ことを特徴とする流体吐出管構造体。

(2) 本件発明 3 の構成要件に準じた構成

l 1 貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 は、筒本体 2 の一端部に設けたときに、筒本体 2 に内蔵した第 1 の軸体 7 の入口側接続部材 4 寄りの位置に隙間 2 9 を有している

m 1 ことを特徴とする a 1 ～ h 1 または i 1 ～ k 1 記載の流体吐出管構造体。

2 被告製品 (3/8inch)

(1) 本件発明 1 の構成要件に準じた構成

a 2 両端のうち吐出側の一端部に貫通孔 5 を有する接続機構 6' が一体に設けられた筒本体 2 と,

b 2 この筒本体 2 の他端部に設ける貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 と,

c 2 (該当なし)

d 2 外周に螺旋突起 2 4 を有して上記筒本体 2 の入口側接続部材 4 寄りに内蔵する第 1 の軸体 7 と,

e 2 上記筒本体 2 の接続機構 6' 寄りに内蔵する第 2 の軸体 8 とからなり, かつ,

f 2 上記第 2 の軸体 8 は, 一端部を截頭円錐形 3 4 a に形成するとともに他端部を円錐形 3 4 b に形成し,

g 2-1 この両端部の間である軸部の外周面に多数の凸部 3 2 が, 不規則な位置関係で個体差を以って形成されたものであり,

g 2-2 各凸部 3 2 における, 底平面 (凸部 3 2 の底面を真下から垂直に見た形), 天井平面 (凸部 3 2 の天井面を真上から垂直に見た形), 及び底面から天井面までの, 底面から天井面に向かう方向に対して垂直方向の各断面 (以下, 「凸部各断面」という。) は, いずれも形状が異なっており, かつ, それぞれの四辺の長さ及び四つの内角の角度が不均一な略四角形であり,

g 2-3 各凸部 3 2 の正面は, 軸部の底面から天井面にかけて末広がりになっている略扇形状であって, 歪みをもって形成されている

h 2 ことを特徴とする流体吐出管構造体。

(2) 本件発明 3 の構成要件に準じた構成

l 2 貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 は、筒本体 2 の一端部に設けたときに、筒本体 2 に内蔵した第 1 の軸体 7 の入口側接続部材 4 寄りの位置に隙間 2 9 を有している

m 2 ことを特徴とする a 2 ～ h 2 または i 2 ～ k 2 記載の流体吐出管構造体。

3 被告製品 (1/2inch)

(1) 本件発明 1 の構成要件に準じた分説

a 3 両端のうち吐出側の一端部に貫通孔 5 を有する接続機構 6' が一体に設けられた筒本体 2 と,

b 3 この筒本体 2 の他端部に設ける貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 と,

c 3 (該当なし)

d 3 外周に螺旋突起 24 を有して上記筒本体 2 の入口側接続部材 4 寄りに内蔵する第 1 の軸体 7 と,

e 3 上記筒本体 2 の接続機構 6' 寄りに内蔵する第 2 の軸体 8 とからなり, かつ,

f 3 上記第 2 の軸体 8 は, 一端部を截頭円錐形 34a に形成するとともに他端部を円錐形 34b に形成し,

g 3-1 この両端部の間である軸部の外周面に多数の凸部 32 が, 不規則な位置関係で個体差を以って形成されたものであり,

g 3-2 各凸部 32 における, 底平面 (凸部 32 の底面を真下から垂直に見た形), 天井平面 (凸部 32 の天井面を真上から垂直に見た形), 及び底面から天井面までの, 底面から天井面に向かう方向に対して垂直方向の各断面 (以下, 「凸部各断面」という。) は, いずれも形状が異なっており, かつ, それぞれの四辺の長さ及び四つの内角の角度が不均一な略四角形であり,

g 3-3 各凸部 32 の正面は, 軸部の底面から天井面にかけて末広がりになっている略扇形状であって, 歪みをもって形成されている

h 3 ことを特徴とする流体吐出管構造体。

(2) 本件発明 3 の構成要件に準じた構成

1 貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 は, 筒本体 2 の一端部に設けたときに, 筒本体 2 に内蔵した第 1 の軸体 7 の入口側接続部材 4 寄りの位置に隙間 29 を有し

ている

m ことを特徴とする a 3 ～ h 3 または i 3 ～ k 3 記載の流体吐出管構造体。

4 被告製品 (3/4inch)

(1) 本件発明 1 の構成要件に準じた構成

a 4 両端のうち吐出側の一端部に貫通孔 5 を有する接続機構 6' が一体に設けられた筒本体 2 と、

b 4 この筒本体 2 の他端部に設ける貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 と、

c 4 (該当なし)

d 4 外周に螺旋突起 24 を有して上記筒本体 2 の入口側接続部材 4 寄りに内蔵する第 1 の軸体 7 と、

e 4 上記筒本体 2 の接続機構 6' 寄りに内蔵する第 2 の軸体 8 とからなり、かつ、

f 4 上記第 2 の軸体 8 は、一端部を截頭円錐形 34a に形成するとともに他端部を円錐形 34b に形成し、

g 4-1 この両端部の間である軸部の外周面に多数の凸部 32 が、不規則な位置関係で個体差を以って形成されたものであり、

g 4-2 各凸部 32 における、底平面（凸部 32 の底面を真下から垂直に見た形）、天井平面（凸部 32 の天井面を真上から垂直に見た形）、及び底面から天井面までの、底面から天井面に向かう方向に対して垂直方向の各断面（以下、「凸部各断面」という。）は、いずれも形状が異なっており、かつ、それぞれの四辺の長さ及び四つの内角の角度が不均一な略四角形であり、

g 4-3 各凸部 32 の正面は、軸部の底面から天井面にかけて末広がりになっている略扇形状であって、歪みをもって形成されている

h 4 ことを特徴とする流体吐出管構造体。

(2) 本件発明 3 の構成要件に準じた構成

1 4 貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 は、筒本体 2 の一端部に設けたときに、筒本体 2 に内蔵した第 1 の軸体 7 の入口側接続部材 4 寄りの位置に隙間 29 を有し

ている

m 4 ことを特徴とする a 4 ～ h 4 または i 4 ～ k 4 記載の流体吐出管構造体。

5 被告製品（linch）

(1) 本件発明 1 の構成要件に準じた構成

a 5 両端のうち吐出側の一端部に貫通孔 5 を有する接続機構 6' が一体に設けられた筒本体 2 と、

b 5 この筒本体 2 の他端部に設ける貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 と、

c 5 （該当なし）

d 5 外周に螺旋突起 24 を有して上記筒本体 2 の入口側接続部材 4 寄りに内蔵する第 1 の軸体 7 と、

e 5 上記筒本体 2 の接続機構 6' 寄りに内蔵する第 2 の軸体 8 とからなり、かつ、

f 5 上記第 2 の軸体 8 は、一端部を截頭円錐形 34a に形成するとともに他端部を円錐形 34b に形成し、

g 5-1 この両端部の間である軸部の外周面に多数の凸部 32 が、不規則な位置関係で個体差を以って形成されたものであり、

g 5-2 各凸部 32 における、底平面（凸部 32 の底面を真下から垂直に見た形）、天井平面（凸部 32 の天井面を真上から垂直に見た形）、及び底面から天井面までの、底面から天井面に向かう方向に対して垂直方向の各断面（以下、「凸部各断面」という。）は、いずれも形状が異なっており、かつ、それぞれの四辺の長さ及び四つの内角の角度が不均一な略四角形であり、

g 5-3 各凸部 32 の正面は、軸部の底面から天井面にかけて末広がりになっている略扇形状であって、歪みをもって形成されている

h 5 ことを特徴とする流体吐出管構造体。

(2) 本件発明 3 の構成要件に準じた構成

1 5 貫通孔 3 を有する入口側接続部材 4 は、筒本体 2 の一端部に設けたときに、筒本体 2 に内蔵した第 1 の軸体 7 の入口側接続部材 4 寄りの位置に隙間 29 を有し

ている

m 5 ことを特徴とする a 5 ～ h 5 または i 5 ～ k 5 記載の流体吐出管構造体。

以 上

(別紙)

被告製品 (3/8inch) 写真目録 (被告主張)

1



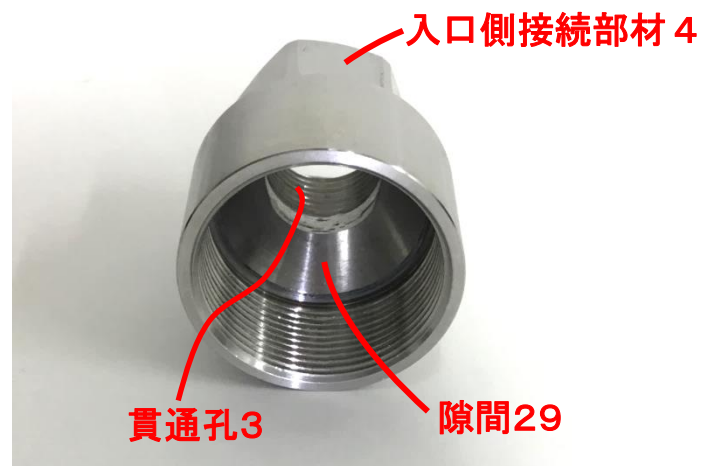
2



3

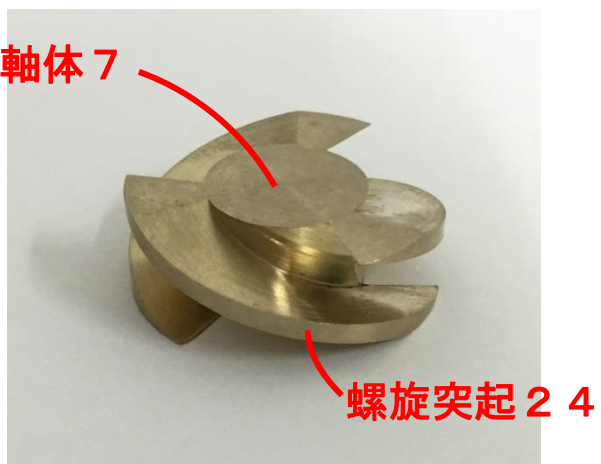


4

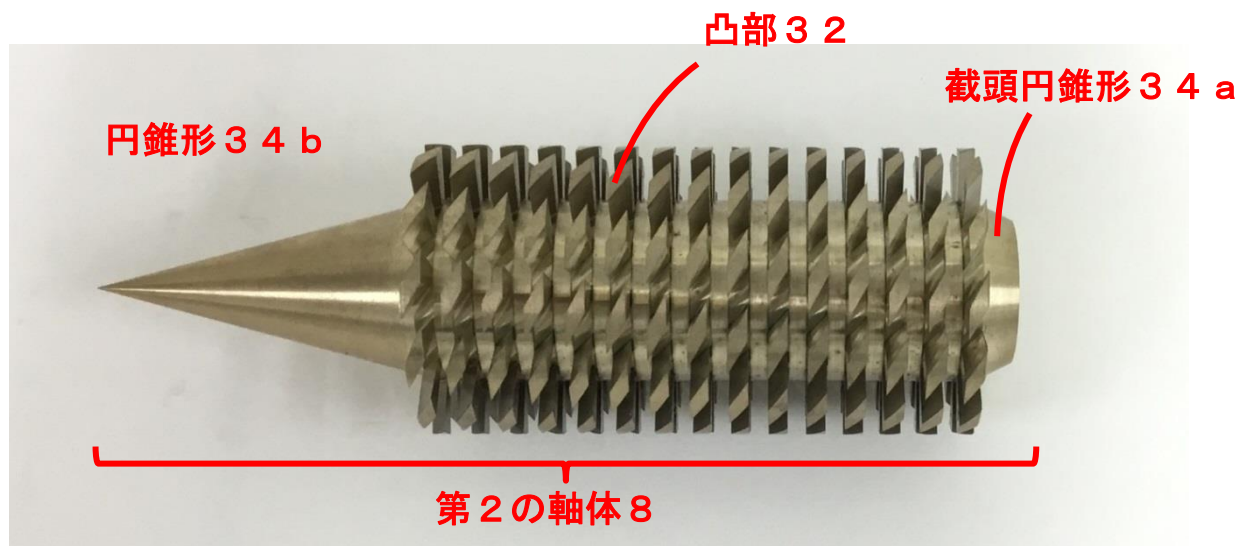


5

第 1 の軸体 7



6



7

凸部 3 2



8



以 上

(別紙)

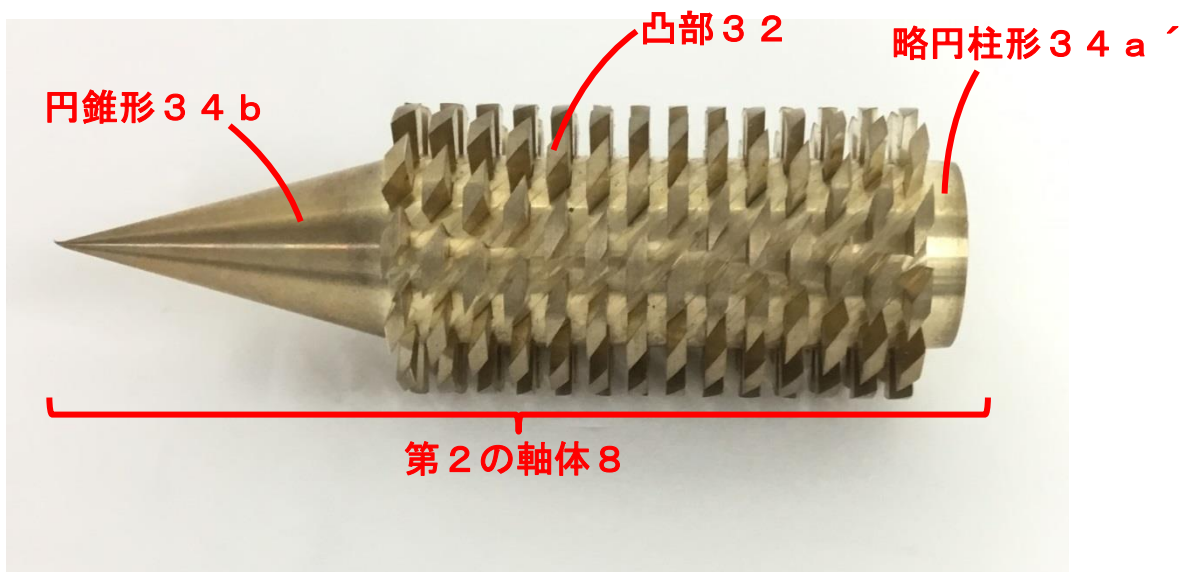
被告各製品の「第2の軸体8」の写真目録（被告主張）

1 被告各製品の「第2の軸体8」

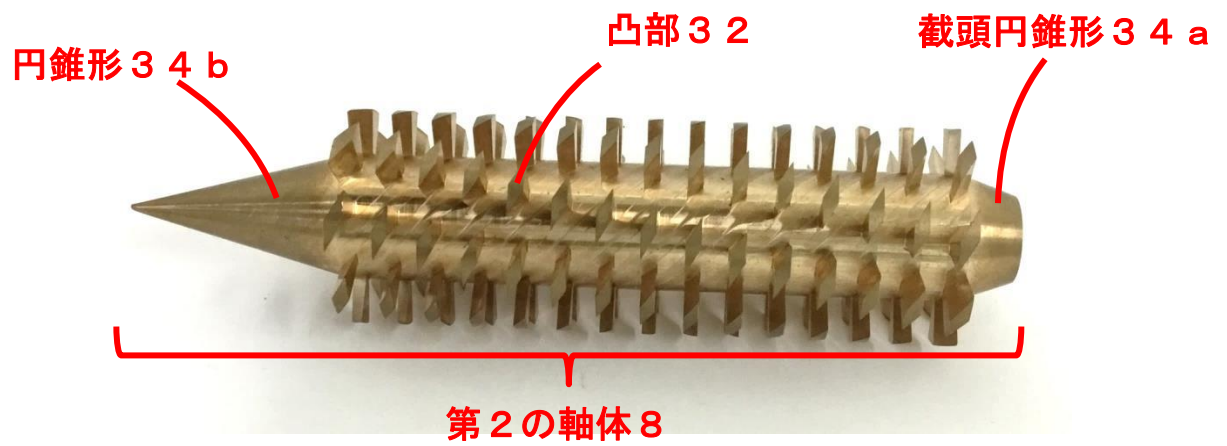
(左から, 1inch, 3/4inch, 1/2inch, 3/8inch, 1/4inch)



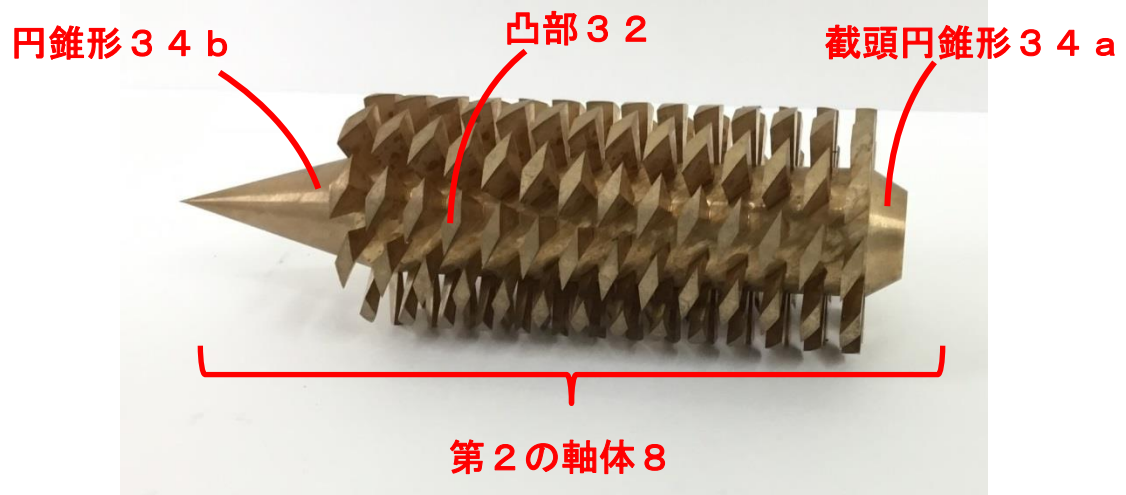
2 被告製品（1/4inch）の「第2の軸体8」



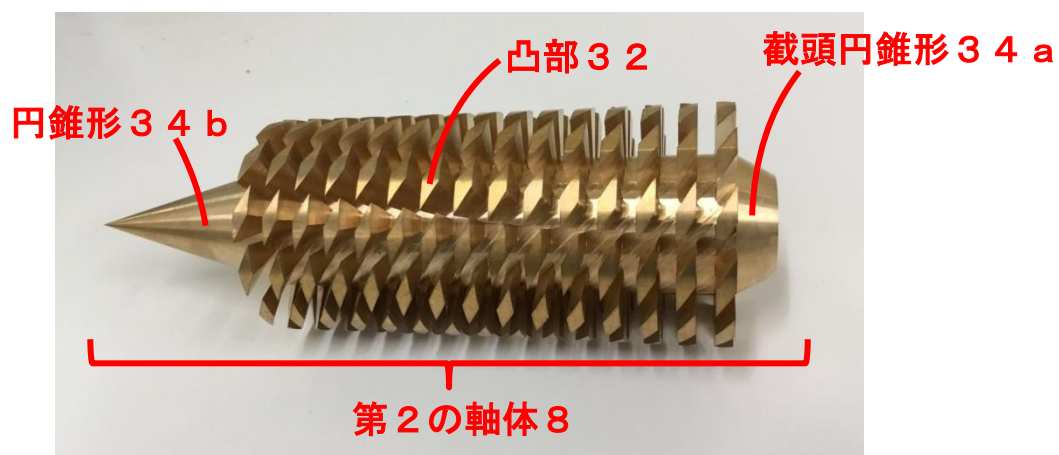
3 被告製品（1/2inch）の「第2の軸体8」



4 被告製品（3/4inch）の「第2の軸体8」



5 被告製品（linch）の「第2の軸体8」



以 上